

秋葉区社会福祉協議会

2019年度助成事業の手引き

社会福祉協議会では、自治会・町内会を通してご協力頂いております社協会員会費・共同募金配分金を財源として地域コミュニティにおける地域福祉活動に対し、各種助成を行っています。

No	助成事業名	助成金額	活用できる団体
1	地域ふれあい事業	上限 10,000 円 (年3回を限度とする) 複数自治会・町内会の場合は10,000円を乗じた額を上限とする。	自治会・町内会
2	歳末除雪見守り事業	上限 30,000 円 (年1回を限度とする)	
3	ふれあいいきいきサロン事業	<市社協助成> 月1回 上限 30,000 円 月2回 上限 60,000 円 <区社協助成> 上限 15,000 円	自治会・町内会等
4	地域福祉活動計画推進事業	上限 60,000 円 (年3回を限度とする) ただし事業費の10分の8以内	地区社協、コミ協
5	歳末たすけあい事業	上限 (年1回を限度とする) 自治会・町内会 10,000円 複数自治会・町内会の場合は10,000円を乗じた額を上限とする。 地区社協、コミ協 100,000円 ただし事業費の3分の2以内	自治会・町内会、 地区社協、コミ協 等

●●●相談受付窓口●●●

秋葉区社会福祉協議会

秋葉区新津本町1-2-39 新津地域交流センター2階

TEL: 0250-24-8376 FAX: 0250-23-3322

もくじ

1. 地域ふれあい事業 >>>>>>>>> P.1
2. 歳末除雪見守り事業 >>>>>>>> P.2
3. ふれあいいきいきサロン事業 >>>> P.3
4. 地域福祉活動計画推進事業助成 >>> P.5
5. 歳末たすけあい事業 >>>>>>>>> P.6
6. 申請手続きの流れ >>>>>>>>>> P.7

1. 地域ふれあい事業

自治会・町内会の範囲で、多世代交流の支援を目的とした助成事業です。

(1) 対象団体

自治会・町内会（複数の自治会・町内会での共同事業も対象）

(2) 事業例

七夕まつり、バーベキュー大会、そうめん流し、自治会・町内会の祭り など

(3) 助成条件

- ① 自治会・町内会が住民全体に呼びかけ、幅広い年代が事業に参加していること
- ② 自治会・町内会が事業の実施に関与していること
 - ◆特定の団体に所属する者のみを対象とする事業は助成対象外とします

(4) 助成の制限

- ① 助成対象経費項目—事業費全般
- ② 助成額の上限—1回につき10,000円まで
 - ◆残額を次回の申請に繰り越すことはできません
 - ◆複数自治会で事業を開催した場合は10,000円×申請した自治会・町内会数が助成上限額となります
- ③ 助成回数の上限—1年度内3回まで
 - ◆残数を次年度に繰り越すことはできません



◆注意事項

事業実施後に申請書兼報告書を提出いただきますが、

実施前に社会福祉協議会へ企画内容をご相談ください。

2. 歳末除雪見守り事業

自治会・町内会が実施する除雪支援活動をととして、住民相互の助け合いの輪と日常の見守り活動への関心を高めることを目的とした助成事業です。

(1) 対象団体

自治会・町内会

(2) 事業例

- ① 高齢者のみ世帯、障がい者世帯への除雪活動
- ② 通学路の除雪活動 など

(3) 助成条件

- ① 自治会・町内会の住民に広く周知し、住民の相互の助け合い活動であること
- ② 案内のチラシ等に歳末たすけあい募金の助成事業であることが広く周知出来ること。

(4) 助成の制限

- ① 助成対象経費項目—事業費全般
- ② 除雪活動に係る経費
※但し、助成金の対象は、11月から1月に支出した経費のみ対象となります。
- ③ 助成額の上限—30,000 円



3. ふれあいいきいきサロン事業

概ね自治会・町内会を範囲とした定期的な交流の場をつくるための助成事業です。
助成対象となる事業内容は月 1 回開催タイプと月 2 回以上開催タイプがあります。

月 1 回開催タイプ

(1) 助成対象団体

自治会・町内会 など

(2) 助成条件

- ① 月 1 回以上、定期的に開催すること
 - ◆時節柄集まりにくい月を休みとすることは可（お盆、年末年始、年度末等）
- ② ボランティア行事用保険に加入すること
 - ◆サロン開催中及び行き帰り／参加者及び主催者全員が対象となります
- ③ 10 人以上の参加があること

(3) 助成の制限

- ① 助成対象経費項目 — 事業費全般
 - ◆会場借上料、ボランティア保険料、講師謝礼など
 - 消耗品費や事務費も含まれます（一部助成対象外のものがあります）
- ② 助成額の上限 — 市社協助成と区社協助成は併用して申請可能

<市社協助成> ひと月 2,500 円まで

◆毎月実施した場合、年度内の助成額上限は 30,000 円となります

◆年度途中の申請も可能です

その場合、助成決定した月から年度内に実施した月数×2,500 円が助成額上限となります

<区社協助成> 定額 3,000 円+500 円×実施回数

◆実施回数 24 回まで助成対象

◆年度内の助成額上限は 15,000 円となります



月2回以上開催タイプ

(1) 助成対象団体

自治会・町内会 など

(2) 助成条件

- ① 月2回以上、定期的に開催すること
 - ◆時節柄集まりにくい月を休みとすることは可。(お盆、年末年始、年度末等)
- ② ボランティア行事用保険に加入すること
 - ◆サロン開催中及び行き帰り／参加者及び主催者全員が対象となります。
- ③ 10人以上の参加があること
- ④ 3年以内に週1回以上の事業(地域の茶の間支援事業)への移行が見込まれること

※週1回以上開催の地域の茶の間には「地域の茶の間支援事業」(ひと月20,000円まで)があります。別途条件がございますのでご相談ください。
「地域の茶の間支援事業」についての窓口は
新潟市福祉部地域包括ケア推進課(025-226-1281)になります。

(3) 助成の制限

- ① 助成対象経費項目—事業費全般
 - ◆会場借上料、ボランティア保険料、講師謝礼など
 - ◆消耗品費や事務費も含まれます(一部助成対象外のものがあります)
- ② 助成額の上限 — 市社協助成と区社協助成は併用して申請可能

〈市社協助成〉 ひと月5,000円まで

◆毎月実施した場合、年度内の助成額上限は60,000円となります

◆年度途中の申請も可能です

その場合、助成決定した月から年度内に実施した月数×5,000円が助成額上限となります。

〈区社協助成〉 定額3,000円+500円×実施回数

◆実施回数24回まで助成対象

◆年度内の助成額上限は15,000円となります

4. 地域福祉活動計画推進事業

秋葉区地域福祉計画・地域福祉活動計画に基づき、取り組みを実践する地区に助成します。

(1) 助成対象団体

地区社会福祉協議会、地域コミュニティ協議会

(2) 事業例

- ① 地域福祉活動を担うボランティアの育成、組織化
- ② 地域の見守り活動
- ③ 健康教室や講演会等の交流活動 など

(3) 助成条件

- ① 地域福祉活動計画の推進に寄与する事業
- ② 独自の企画と方法に基づいた先駆的な事業
 - ◆一団体に所属する者のみを対象とする事業は助成対象外とします



(4) 助成の制限

- ① 助成対象経費項目 — 事業費全般
 - ◆お酒などの飲み代は除きます
- ② 助成額の上限 — 60,000 円

◆ただし、事業費総額の 10 分の 8 以内とします

◆年度を越えての繰り越しはできません

- ③ 助成回数の上限— 一年度内 3 回まで

◆残数を次年度に繰り越すことはできません



5. 歳末たすけあい事業

地域住民同士の交流を目的とする歳末時期（11月中旬から1月末）の事業を支援します。
また、事業を通して地域の関係団体との協働を促進し、赤い羽根共同募金と歳末たすけあい募金のPRを行います。

（1）助成対象団体

自治会・町内会、コミュニティ協議会、地区社会福祉協議会 など

（2）事業例

クリスマス交流会、餅つき大会、音楽会、さいの神 など

（3）助成条件

- ① 事業を進める際に地域の各種関係機関・団体、福祉施設等と連携をはかること
- ② 回覧板文書などに秋葉区社会福祉協議会の歳末たすけあい事業であることを明記の上、広く地域に呼びかけること。また、当日会場内にも看板などで同事業であることを明示すること。
- ③ ボランティア行事用保険等損害保険に加入すること

（4）助成の制限

- ① 助成対象経費項目 — 事業費全般
 - ◆お酒などの飲み代は除きます
 - ◆講師謝礼は上限2万円とします
 - ◆食材費は一人当たり概ね500円を上限とします
- ② 助成額の上限 — 事業費総額の3分の2以内で、参集範囲により助成上限額が異なります。



- ・自治会・町内会 10,000円
（複数自治会・町内会で実施した場合は参集範囲の自治会数に10,000円を乗じた額を助成限度額とし、最大100,000円とします）
- ・地区社協・コミ協 100,000円

※但し、事業予算の関係で多くの申請があった場合や、区全体の歳末たすけあい募金額が減少した場合は助成額を調整させていただくことがあります。

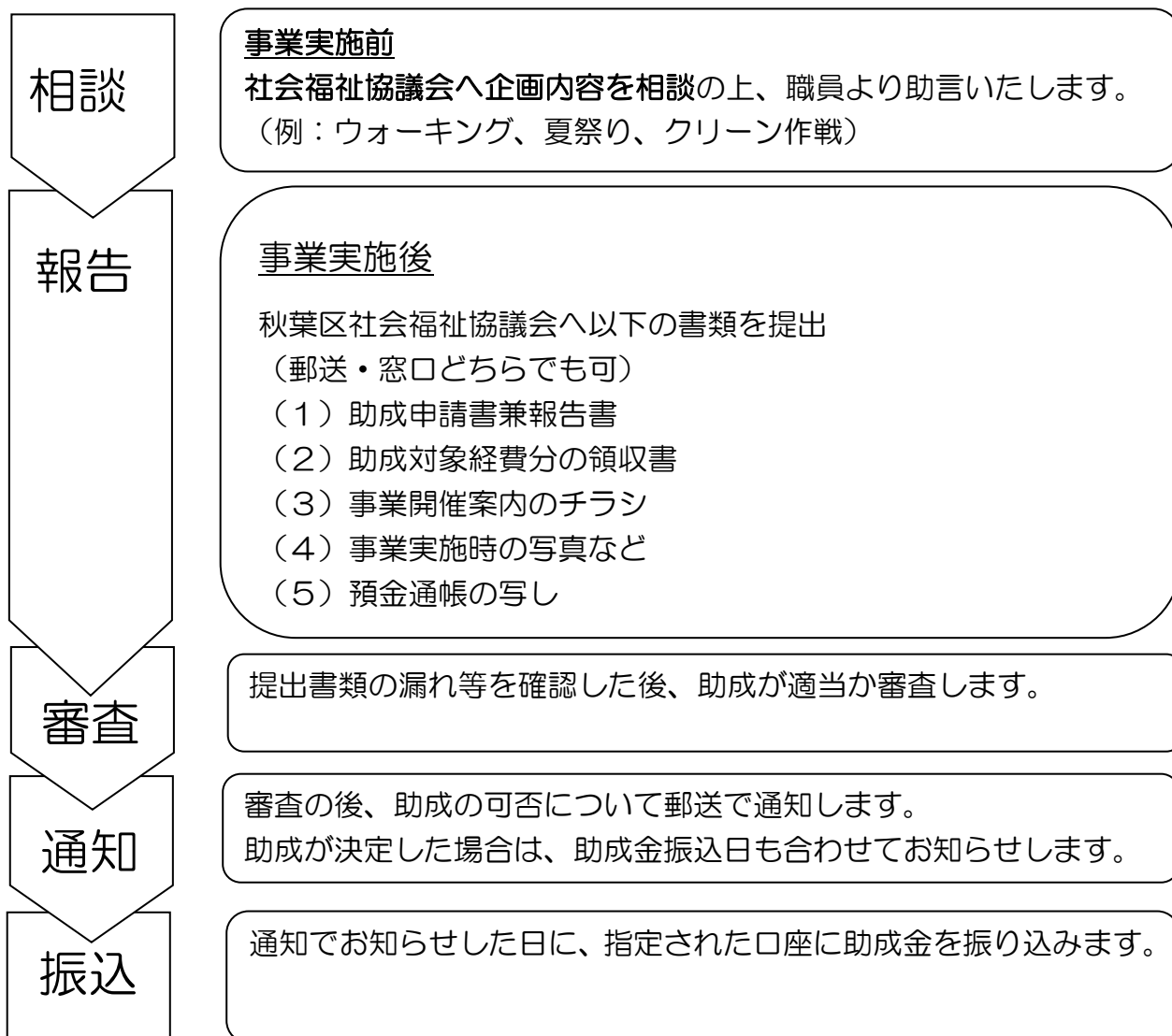


6. 申請手続きの流れ

手続きのながれは大きく3つに分かれます。

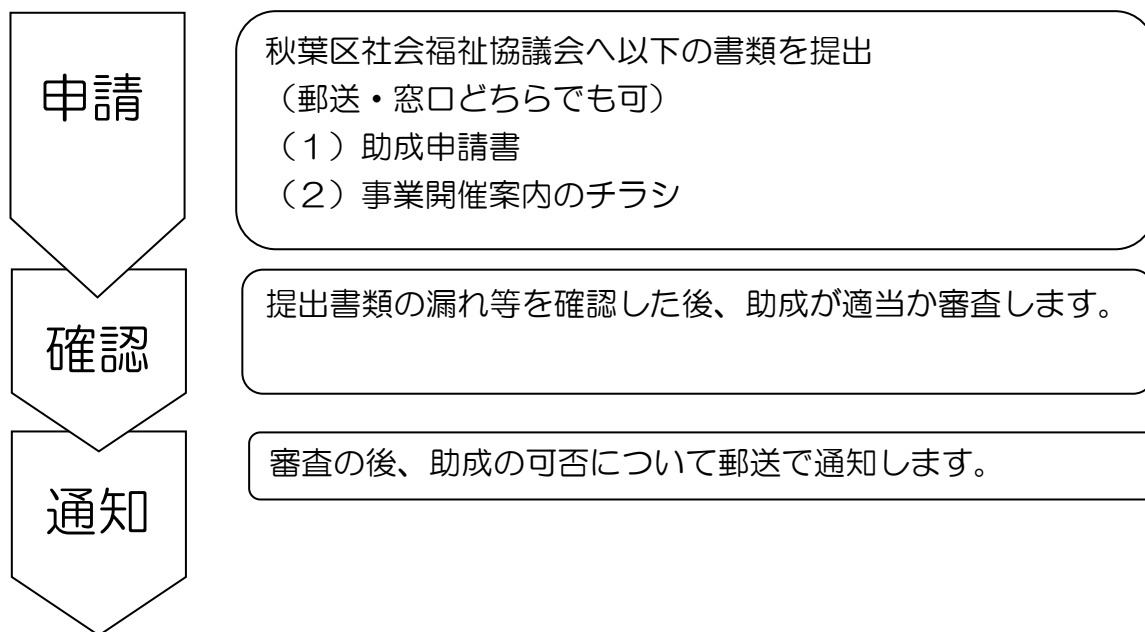
①	地域ふれあい事業 (P. 1)	事業実施 後のみ (要事前相談)
②	歳末除雪見守り事業 (P. 2) 地域福祉活動計画推進事業助成 (P. 5) 歳末たすけあい事業 (P. 6)	事業実施 前および後
③	ふれあいいきいきサロン事業 (P. 3)	年度初めおよび年度末 ※年度途中でも申請可

① 地域ふれあい事業

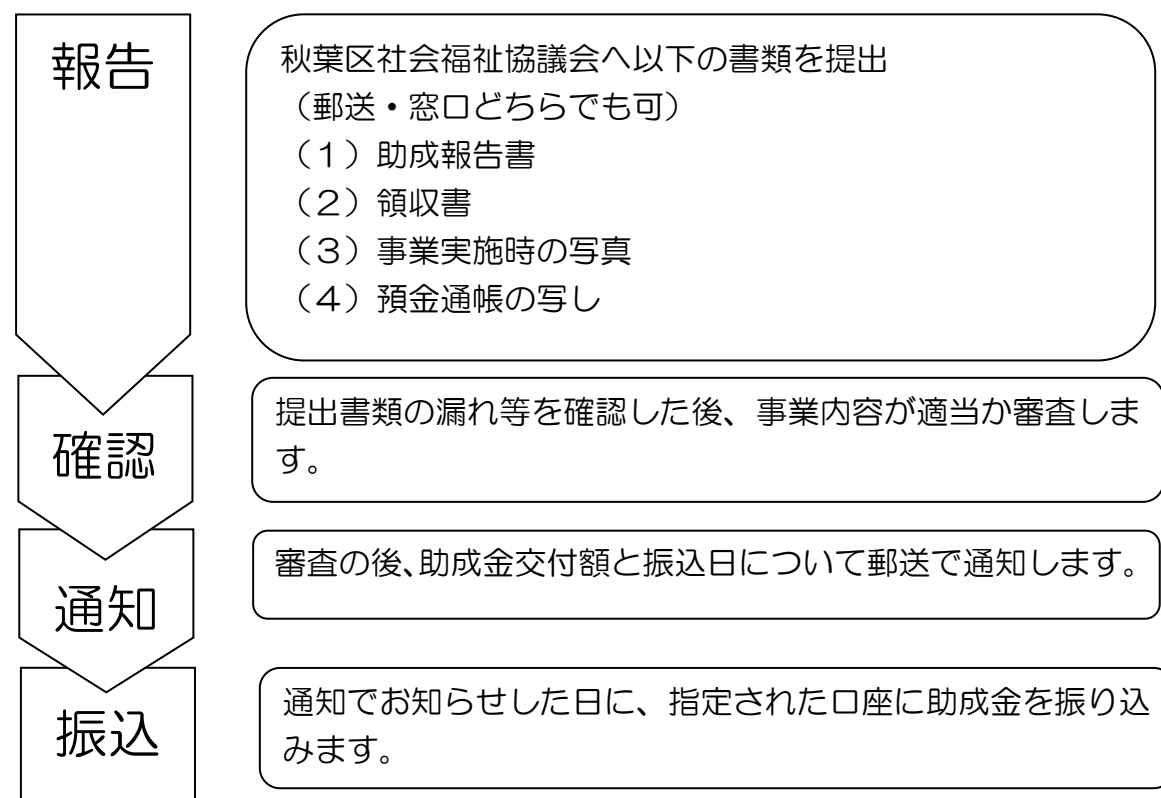


② 歳末除雪見守り事業、地域福祉活動計画推進事業、歳末たすけあい事業

<事業実施前>



<事業終了後>



③ ふれあいいきいきサロン事業

<年度初め> ◆年度途中の申請も可能です

申請

秋葉区社会福祉協議会へ以下の書類を提出
(郵送・窓口どちらでも可)
(1) 助成申請書
(2) 事業開催案内のチラシまたは事業計画書
◆年度内実施日がわかるもの
(3) 口座振込申込書
(4) 預金通帳の写し

審査

提出書類の漏れ等を確認した後、助成が適当か審査します。

通知

審査の後、助成の可否について郵送で通知します。
助成が決定した場合は、助成金振込日も合わせてお知らせします。

振込

通知でお知らせした日に、指定された口座に助成金を振り込みます。

<年度末>

報告

秋葉区社会福祉協議会へ以下の書類を提出
(郵送・窓口どちらでも可)
(1) 実績報告書
(2) 収支決算報告書
(3) 領収書

確認

提出書類の漏れ等を確認した後、助成が適当か審査します。

通知

審査の後、助成金の返金が生じる場合は郵送で通知します。
◆翌年度になります。

返金

通知書に記載された金額を指定された口座に振込ください。

<秋葉区社会福祉協議会ホームページ>

ホームページから申請書や広報誌等、ダウンロードできますので
ご活用ください。

<http://niigataakihaku-syakyo.jp/>



QRコード